

研究課題名	眼窩炎症疾患における眼窩部構造評価について
研究の意義・目的	<p>眼窩疾患は眼科疾患の中では数が少ない疾患です。眼窩疾患の診断や病状判定には画像検査が必須となってきます。しかし、一般の眼科では画像検査を行うことができず大病院などの特定機能病院への紹介が必要となってきます。眼窩疾患の病状と眼科検査との関連性を検討することで、一般眼科でも施行できる検査から眼窩疾患の病状や病勢を判定できる可能性があります。眼窩疾患では外眼筋や涙腺含め周辺組織を機械的に障害することがあります。そのため、眼球運動障害や複視などの症状を認めます。しかし、眼窩疾患の病勢と画像検査、眼科神経疾患との関連は不明です。そのため、複数回の画像検査が必要となります。研究により画像検査から病勢や眼科疾患との関連性の解析により画像検査の回数を減らせる可能性や不要な加療を防ぐことや、今後の病気予後が明らかになる可能性があります。また、眼窩画像検査の情報を検討することで病状の変化について捉えられる可能性や、眼科の眼底や神経疾患との関連を明らかにできる可能性があります。神戸海星病院から情報の提供を受け、神戸大学に解析のために情報を提供し研究を行います。</p> <p>眼窩疾患は稀少例であるため、解析を行うことは一般診療や患者様の負担軽減などへ寄与できると考えられます。</p>
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日 ～ 2030年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2000年4月～2025年1月に大阪公立大学医学部附属病院、神戸海星病院の眼科へ、眼窩疾患のため受診された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>診療情報：病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、採血などの検査データ、MRI画像、CT画像、視力、眼圧、眼位、光干渉断層計検査などの眼科検査データ</p>
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名(提供元について)	<p>公立大学法人大阪 機関の長の氏名：福島 伸一</p> <p>神戸海星病院眼科 機関の長の氏名：井上信孝</p>
提供する試料・情報の取得の方法	診療の過程で得られた診療情報
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者	<p>研究責任者 氏名：田上 瑞記</p> <p>研究機関名：大阪公立大学大学院医学研究科視覚病態学</p>
試料・情報を利用する者の範囲	この研究は大阪公立大学医学部附属病院眼科、神戸大学（西尾瑞穂）、神戸海星病院（安積 淳）のもとで行います。
試料・情報の管理について責任を有する者の研究機関の名称	公立大学法人大阪
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。

	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学 大学院医学研究科 【責任者】所属：視覚病態学 氏名：田上瑞記 電話番号：(06) 6645-3867 メールアドレス：tagami.mizuki@omu.ac.jp